

「綾瀬市の方向性・スマートインターチェンジ建設とまちづくり」

日本政策金融公庫 厚木支店
中小企業事業統轄 三澤 幸治

1. 地域創生のポイント

人口増加もしくは維持により地域経済が安全に発展すること

2. 住宅化

A) 東京・横浜のベッドタウンとしての位置付け・・・交通網・とりわけバス・高速バス

B) 地域産業発展による人口増加(下記3からの視点)

3. 工業立地の問題点

高額の地価・・・北関東の3倍、これに耐えられる企業とは？

一般的な産業では採算ラインに乗らない

参入業種へのビジョン・・・行政の関与の重要性

インキュベータの活用・・・環境型・研究開発型・・・大学とのタイアップ

4. ロジスティック

周辺地域人口に対する経済の要請・・・物流基地化

交通量増加による安全への対策・・・立地制限をどう考えるべきか

5. 農業の発展

観光農業化の道・・・いかに外部から人を呼ぶか

文化・環境を如何に守りながら発展させるか

特産品のブランド化戦略・・・畜産、野菜・果物・花

6. イベント地域としての発展

厚木基地・運動公園・市民会館の高度利用

イベント招致・・・カメラ・無線・ミリタリーホビー・アニメ・野外コンサート

7. 方向性

産業主体を決める

産業ミックス・・・バランスをどう考えるか

8. 住みやすさとは何か

安全対策・・・いずれの方向性も交通量増加は必至

安全施設の検討

交通規制

ルートの設定

ショッピングモールの形成

住民にとっての利便性

外部流入者にとっての利便性

公共交通手段

9. 自主性

人任せにしない、議論の重要性